

改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目№		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(20年4月1日現在)
	自己	外部				
改善済み	20	11	職員が地域の同業者と交流、機会をもち、サービスの質の向上を図る	・相互研修に参加したり、利用者をさそって、他のグループホームを訪問した。	調査後すぐ	見学したり、職員同志話し合うことにより、より良い刺激を受け、楽しい交流の場がもてた。
改善済み	42		地域包括支援センターとの協力。	・運営推進会議以外に介護相談員訪問を受け、交流会にも参加。	月に1回	いろいろな意見をうかがう機会がふえた。
改善済み	50	20	プライバシーの確保の徹底	・入口に置いていた面会簿ノートの廃止。 ・面会表を作成し、必要に応じて書いてもらう。	今後ずっと	特に家族からの反応はないが、引き続きおこなう。
改善済み	59	24	楽しみごと、気晴らしの支援	・友達作りを意識し、少人数でのランチ、喫茶、ドライブなど多くしている。 ・手芸、作品、おやつなど手作りのものを共同でしている。	随時	・仲間でのんびり、ごはんやおやつを食べることにより「楽しかった」「また行きたいね」と声をもらった。 ・手作りのものを多くすると、楽しみもふえ、笑顔も出るように思われる。
	37	16	現状に即した介護計画の見直し	・きめ細やかなアセスメントの必要を感じており、介護計画書の見直しをした。		生活全般を見直すきっかけになった。
改善済み	73		身体状態の変化を早期発見し、職員全体で、共有、対応する。	・バイタル記録だけでなく体調変化の記録の専用ノートを作成した。	随時	
	47	19	重度化や終末期の方針の共有	緊急時の対応についてはマニュアルを作成した。		家族との話し合いが必要。ドクターとも相談したい。